



《目次》

◆ お知らせ/イベント情報など

- ・ 【お知らせ】「リケジョ黒田有彩が密着！地層処分について考え・活動している団体の現場レポート」ページを公開しました
- ・ 【お知らせ】日本経済新聞へ掲載した新聞広告記事をご紹介します
- ・ 【受付中】「対話型全国説明会」5会場の参加お申し込みを受付中
- ・ 【イベント】コミュニケーション3Dシアター「ジオ・ミライ号」の出展予定と実績

◆ その他

- ・ 【NUMOコラム】国会議事堂の石材
- ・ 【よくあるご質問】地層処分はどれくらいの深さに埋めるのですか？

◆お知らせ/イベント情報など

【お知らせ】「リケジョ黒田有彩が密着！地層処分について考え・活動している団体の現場レポート」ページを公開しました

今、そして未来のために、全国で「地層処分」について考えている方々の活動をご紹介します「リケジョ黒田有彩が密着！地層処分について考え・活動している団体の現場レポート」ページを公開しました。

▽詳しくはこちら

<https://www.numo.or.jp/pr-info/pr/shienjigyo/report/index.html>

【お知らせ】日本経済新聞へ掲載した新聞広告記事をご紹介します

世界の原子力利用国政府が参加する初めての「最終処分国際ラウンドテーブル」の開催報告や、地層処分について「より深く知りたい」と主体的に活動されている関心グループによる、地層処分先行国（フィンランド、スウェーデン）訪問の内容を紹介した広告記事を日本経済新聞へ掲載しましたのでご紹介します。

▽広告の一覧はこちら

<https://www.numo.or.jp/pr-info/pr/koukoku/index.html>

【受付中】「対話型全国説明会」5会場の参加お申し込みを受付中

「高レベル放射性廃棄物の最終処分に関する対話型全国説明会」について、現在5会場の参加お申し込みを受付中です。初めての方も大歓迎です。皆さまのお申し込みをお待ちしています。

(開催日程)

- ・ 1月22日(水)： 静岡（沼津市） プラサヴェルデ
※事前の参加申し込みは終了しましたが、当日参加も可能です。
- ・ 1月25日(土)： 北海道（室蘭市） 室ガス文化センター（室蘭市文化センター）
- ・ 2月5日(水)： 埼玉（川越市） ウェスタ川越
- ・ 2月19日(水)： 山口（山口市） 山口市民会館
- ・ 3月5日(木)： 福井（福井市） 福井商工会議所

▽ 「高レベル放射性廃棄物の最終処分に関する対話型全国説明会」の詳細や参加お申し込みについてはこちら

<https://www.numo.or.jp/taiwa/2018/>

【イベント】 コミュニケーション 3D シアター「ジオ・ミライ号」の今後の予定と実績

■今後の予定

- ・ 1月25日(土)： 日置市中央公民館【青少年のための科学の祭典 日置市大会】
（鹿児島県日置市）

▽詳しくはこちら

<https://www.numo.or.jp/topics/201920010614.html>

- ・ 2月1日(土)・2日(日)： 玄海町次世代エネルギーパークあすぴあ（佐賀県東松浦郡玄海町）

▽詳しくはこちら

<https://www.numo.or.jp/topics/201920010615.html>

■出展実績

- ・ 1月18日(土)・19日(日)： 玉名市立歴史博物館ころろピア（熊本県玉名市）

▽これまでの出展実績についてはこちら

<https://www.numo.or.jp/pr-info/pr/geomirai/archives.html>

◆その他

【NUMOコラム】国会議事堂の石材

国会議事堂は1936年11月、17年の歳月をかけて建設され、完成しました。今回は、その石材についてご紹介します。

ニュースなどでよく目にする外壁の石材は、1階部分は徳山石（とくやまいし）と呼ばれる山口県産の花崗岩、2階以上の部分は尾立石（おだちいし）と呼ばれる広島県産の花崗岩です。これらの花崗岩は、まだ恐竜が生息していた白亜紀の後期（約1億年前～約6600万年前）に、マグマが地下の深いところで冷えて固まったものです。

一方で、内装には37種類の石材が使用されています。一つ例を挙げると、加茂更紗（かもさらさ）と呼ばれる徳島県産の石灰岩が中央玄関の壁や議場周囲の壁などに使用されています。この石灰岩は、生物の死骸などが海に堆積したものが、白亜紀よりもさらに昔のジュラ期（約2億年前～約1億4500万年前）に、海洋プレートが沈み込むときに大陸側に押しつけられ、はぎとられた（付加作用）ものです。

国会議事堂の建設にあたっては、当時すでに外国産の石材がたくさん輸入されていた中、あえて国産の石材を用いるという方針のもと、日本全国の選りすぐりの石材が使用されたそうです。

このことから、国会議事堂は当時の人々が国の威信をかけて建設したものであることが想像できます。また、使用された石材のなかには現在採掘されていないものもあることから、国会議事堂は、いわば貴重な「日本石材博物館」でもあると言えることができるでしょう。

今回は国会議事堂を例に挙げましたが、お城の石垣やビルの外壁・床など街で見かける石材に注目すると、地球の歴史とともに当時の情景や人々の想いを感じ取ることができます。

石材についての情報はインターネットや書籍で手軽に収集できますので、休日の活動として“「石」をテーマにした街歩き”を行ってみてはいかがでしょうか。

見慣れた景色がまた違って見えるかも知れませんよ。

【よくあるご質問】

NUMOホームページに掲載している「よくあるご質問」をピックアップし、ご紹介します。

今回は・・・

Q.

地層処分はどれくらいの深さに埋めるのですか？

A.

地層処分をする深さについては、地下300メートル以上の深さとすることが法律（特定放射性廃棄物の最終処分に関する法律）で定められています。

実際の処分場は、300メートルより深いところで、地下水の流れがゆるやかであり、酸素がほとんどなく、地温が高すぎない、トンネル等を掘削できる強度をもっているなどの特性を持った、十分な広がりのある地層（岩盤）に設置することになります。

▽「よくあるご質問」はこちら

https://www.numo.or.jp/q_and_a/

☆NUMOメールマガジンのご感想やご意見をお待ちしております

webmaster@numo.or.jp までどうぞ！

NUMOホームページ： <https://www.numo.or.jp/>

YouTube： <https://www.youtube.com/c/ChannelNUMO>

Facebook： <https://www.facebook.com/numojp>

Instagram： <https://www.instagram.com/numo.jp/>

メールマガジン解除は「メルマガ解除」と件名記載のうえ下記アドレスへご連絡ください

webmaster@numo.or.jp
